踏み出す力

行動は気づきに変わる

発行者
武岡中学校生徒会本部
ブログはこちら↓

生徒会役員「気づく力を磨きたい」

青少年赤十字の精神を生徒会活動に

青少年赤十字トレセン in 鹿屋

11月22日（土）に大隅少年自然の家で行われた青少年赤十字リーダーシップ・トレーニングセンターに参加しました。青少年赤十字加盟校から24名が集まり、赤十字の活動について勉強をしたり、生徒会活動の企画・立案の仕方を学んだりするなど、とても充実した研修をすることができました。

「赤十字」と聞くと献血を思い浮かべる人が多いと思いますが、赤十字の活動には、献血事業だけではなく災害救護、国際貢献などがあり、困っている人を助ける活動を行っています。

研修のはじめにアイスブレーキングのじゃんけんをしました。ただの遊びではなく、一つ一つの活動に意味があり、赤十字の態度目標である「気づき」「考え」「実行する」を体験することができる工夫がなされていました。

グループワークの様子

昼食時間も休憩時間ではなく研修の一環です。いつもの給食や弁当などのお昼ご飯ではなく、非常食を食べました。初めて食べた非常食のドライカレーの味は普通の食事とほとんど変わらず、驚きました。お湯や水で作ることができ、器がなくても、袋から直接食べることができる工夫がされていました。非常食はアレルギーにも対応していて、量も多く、食べ応えがありました。

午後は、生徒会活動の成果や課題などについて情報交換を行いました。ノーチャイムデーや平和集会など他の学校には、武岡中学校にない生徒会活動や行事がたくさんあることを知りました。情報交換の後は、学校の課題を解決するために必要な取り組みを考え、企画書を作成しました。

この研修会で一番心に残ったことは、学校をよりよくするために一人一人が自分に出来ることを考えて行動に移すことが大切だということです。自分の周りの人たちは、どんなことに困っているのか、その場に応じて今自分ができることは何か、「気づく力」を磨いていきたいと思いました。また、今回作成した企画書は、今後検討を重ね、先生方と話し合って実現できるようにしていきたいと思います。最後に、今回貴重な学習の機会を与えてくださった青少年赤十字の先生方に感謝したいと思います。

（生徒会長・生徒会会計）

コロナ禍だからこそ

11月9日（火）に谷山北中学校で中生連第2回常任委員会が行われました。鹿児島市内の中学校の生徒会長や副会長が学校代表として、それぞれの学校の取り組みについての報告をしたり、協議に参加したりしました。

報告の中で、鹿児島市と兄弟都市の山形県鶴岡市の中学生交流交歓事業が10月8日にオンラインで行われたことを知りました。直接会うことができなくても、工夫によって充実した交流ができることを学びました。また、ボランティア活動やいじめ防止などについてのポスターを各学校から持ち寄り、選定を行いました。コロナ禍を理由に何事も「できない」と諦めるのではなく、できる事が少ない中でも何か「できるための方法」を考えることで生徒会活動の向上にもつながることを学びました。第3回常任委員会は2月10日にオンラインで行われます。（生徒会長）

ありがとうRini先生

新しいALTの先生がカナダから着任されることになり、これまで約2か月間お世話になったALTのRini先生との授業は11月末で最後となりました。普段、外国の方と話をする機会が少ない私たちにとってRini先生と過ごした時間は、授業で学習した英語を実際に使うことができるとても貴重なものでした。授業では、先生が考えてくださったゲームを通して、楽しく英語を学ぶことができました。普段聞きなれた教科書の音声とは違い、ネイティブの先生の発音をその場で聞き取って理解することは難しく感じることもありましたが、授業を通してオーストラリアの習慣や食文化について学ぶことができ、他の国についても、もっと知りたいと思うようになりました。Rini先生は、引き続き市内の中学校でALTとして勤務されます。またどこかでお会いできることを楽しみに、英語の授業を頑張りたいと思います。青少年赤十字の実践目標の一つに「国際理解・親善」があります。ALTの先生方との交流は、その第一歩だと思います。世界の人々と助け合えるように、新しい出会いも大切にしていきたいです。（副会長）

たけおかSDGs

書き損じはがき回収キャンペーン

SDGsとよく耳にするけれど、何をしたらよいか分からないという人にでも協力できる活動があります。今回は、『すべての人に健康と福祉を』に関わるキャンペーンのお知らせです。

皆さんの家には、書き損じはがきがありませんか？生徒会本部では、書き損じはがきの回収を行います。はがきは鹿児島県視覚障害者団体連合会（ハートピアかごしま内）に送り、お金に換えて、点字やパソコン講演会の実施、スポーツ活動などの視覚障害者福祉に役立てられます。

令和2年度は、県内で4837円の収入となりましたが、皆さんの協力が必要です。全校生徒が一人一枚はがきを持ってきたら、10000円程になります。捨ててしまわれるはずのはがきが、障害のある人を助ける魔法のはがきへと生まれ変わります。期間は1月28日までです。（副会長）

Take Action

新聞のタイトルである「踏み出す力～行動は気づきに変わる～」は、第34期生徒会本部役員が考えた生徒会スローガンです。頭では分かっていても、勇気が出なかったり、楽な方に流されたりして、なかなか行動に移せない経験は誰にでもあると思います。

そんなときに、一歩踏み出す力があれば、これまで気づかなかったことを知ることができるはずです。誰もが一歩踏み出せる生徒会を作ることで武岡中学校をより良い学校にしていきましょう。3学期も生徒会活動を充実させるために生徒会役員一同頑張ります。（生徒会書記）

今学期の1枚

赤い羽根共同募金ポスター
２年生作品

図書館へGO

金子みすゞさんの書いた詩の中に「星とたんぽぽ」という作品があります。この詩には自然が描かれており、目には見えないけれども、他を思いやる優しさや、人間の意思の強さなどを青い空の底、海の小石、昼の星などで表現している詩です。

皆さんは家族や周囲の人から何か言われて反抗したことはありませんか？気づいていないだけで、その裏には優しさや愛情があることをこの詩を読むことで気づかされます。本を読むと自分の視野を広げてくれたり、人生を変えてくれたりするような一冊と出会えるかもしれません。冬休みや三学期もたくさんの本を読みましょう

（文化部副部長）